

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

事業コード 15 事業名 地域自慢情報発信事業 戦略コード 1 戦略名 育て・挑戦を支える商工会
担当部名 企業振興部 担当課名 創生プラン推進課 担当課長名 加藤のり子 施策コード 8 施策名 情報発信強化戦略の策定・実施

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景
商工会活動を内外に発信していくことは、事業者のみならず行政や関係団体、一般住民に対して商工会の存在意義を高めることとなり、結果として会員のメリットにつながる重要な取組であることから、これまで以上に商工会の情報発信を強化していく。
2. 事業のねらい
県連合会と商工会が機能分担し、一体的・体系的に、効果的で戦略的な情報発信を行うために、県連合会は、情報のコントロールタワーとしての役割を担い、商工会の情報発信を強化する。
3. これまでの評価結果
過年度 H29 B H30 B R1 A R2
広報担当職員とのネットワークを強化し、県連合会での情報の一元化を行っている。また、Facebookページ「商工会あきた」の設置・運用と県連合会ホームページとのリンクなど情報発信機能を強化している。しかし、商工会によっては投稿可能な体制が整っていないため、体制の整備や投稿基準を定めるなどの対応が必要である。
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応
Facebookページ「商工会あきた」を活用した情報発信を推進し、会報やホームページとの相互連携や運用体制の整備を図り、商工業者が必要としている情報を積極的に発信する。県連合会が情報のコントロールタワーとして商工会情報を収集・発信する。

【取組評価】

Table with 8 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 31 (一元管理), 32 (広報媒体), 33 (SNS導入), 34 (情報発信).

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度. Rows for 33 and 34.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b
【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B
3. 課題
広報担当職員のメディア活用度合いや情報提供件数、Facebookページ「商工会あきた」への投稿回数には商工会間に偏りがあるため、是正に向けた取組が必要である。
4. 今後の対応方針(改善点)
商工会ホームページや SNS(Facebookなど)による情報発信の実施状況を検証するとともに、より効果的な情報発信に向けて県連合会ホームページを改修する。